

FUJIKURA NEWS 10

2020
No.470

Fujikura Modern history -6

積極経営と研究規模の拡大

昭和40年、栗山新社長の就任により新たな経営理念が発表され、積極的なTQC (Total Quality Control) が活発化。製造部門への品質管理課の設置、社長室への社内標準事務局の設置など、厳しい理念と全社的な標準明文化が進み、企業としての近代化も加速した。多様化する研究開発の能率向上のため、深川には研究本館を建設。各種研究室の他、エアコンや貯水槽、防犯・防災装置など最先端の設備を積極的に取り入れ、技術開発は大きく高度化された。



研究本館 (昭和42年10月)

展示会
情報

CEATEC 2020 ONLINE 出展のご案内



CEATEC® 2020
CPS/IoT EXHIBITION ONLINE

日時

2020年10月20日(火)～2020年10月23日(金)
10:00～17:00

当社は2020年10月20日(火)から23日(金)に開催されるCEATEC 2020 ONLINEに出展します。今年のCEATECは初のオンラインでの試みであり、開催テーマは「つながる社会、共創する未来」、推進スローガンは「ニューノーマル社会と共に歩むCEATEC」です。当社ブースでは、現在そして未来のネットワーク社会に不可欠な当社の製品及びサービスの内容を来場者の方々に分かりやすく展示します。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



2020
10

● オンライン開催の当社ブースURL : <https://online.ceatec.com/event/92/booth/1004>

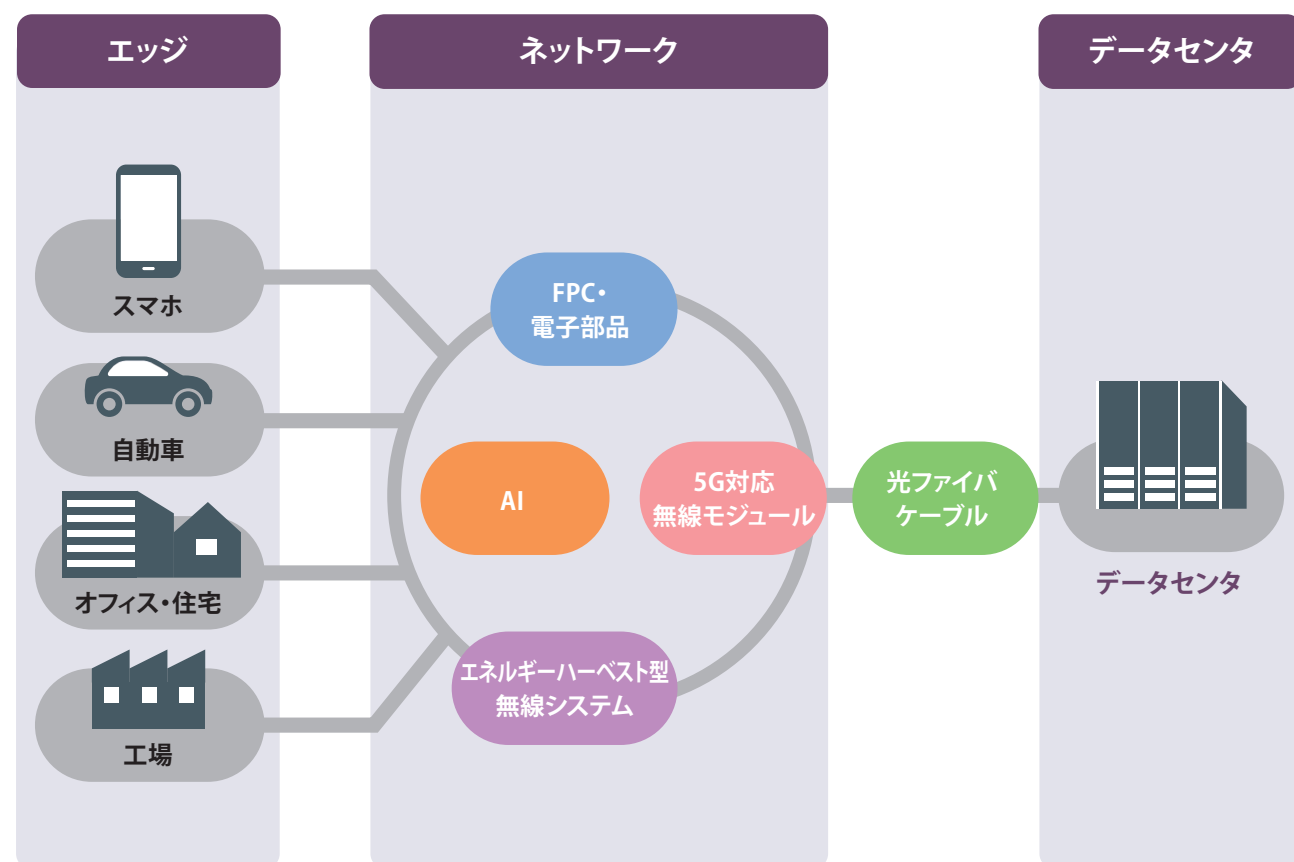
● アーカイブ期間 : 2020年10月23日(金) 17:00～2020年12月31日(木)



フジクラの“つなぐ”テクノロジーは、安全・快適なネットワーク社会の実現に貢献します！

今年になってから急速に普及したテレワークの流れは不可逆であり、全世界的にさらにネットワーク化が加速することは明らかです。当社の“つなぐ”テクノロジーは、安全・快適なネットワーク社会の実現に貢献します。下図はネットワーク社会を支える当社の製品群を示しています。

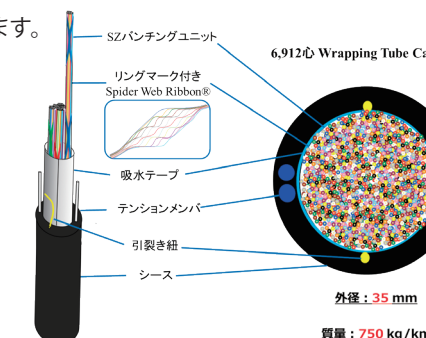
フジクラの展示コンセプト



ネットワーク社会を支えるフジクラの製品

このようなネットワーク社会を実現するための中心となる製品として、当社では超多心細径・高密度な光ファイバケーブル (SWR®/WTC®) を取り揃えています。単心ファイバが間欠的に接着された間欠接着型テープ心線 (SWR) は、容易に変形可能であることでケーブルの高密度化、細径軽量化に寄与すると同時に一括融着接続が可能であるという特長を持ちます。

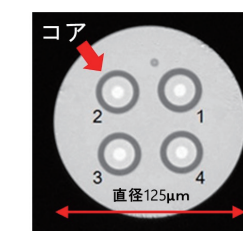
これを採用した、細径高密度光ファイバケーブル (WTC) は、最大で6,912本もの光ファイバを1本のケーブルに詰め込んだ、究極的に細径化・軽量化を目指した構造です。このため、通信事業者のフロントホール、ミドルホール、バックホールからコアネットワークまでの全領域や、データセンタ間の敷設など非常に幅広い用途に適した光ファイバケーブルであるといえます。



今回のCEATECでは、ネットワーク社会を支える技術として高密度・細径構造の光ファイバケーブル (SWR/WTC) を含む当社製品を5つの展示チャンネルに分類し、ご来場の皆様に理解しやすい展示としています。以下、各展示チャンネルの詳細及び展示製品を紹介します。

超スマート社会を実現する光ファイバケーブル

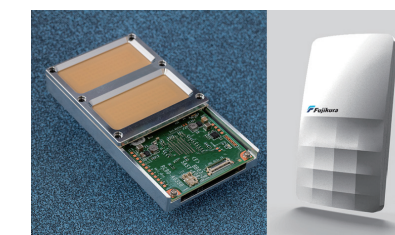
昨今、ビッグデータ、5G、IoTなどにより、ネットワーク上のデータ通信量が爆発的に増大していますが、そのほとんどは光ファイバケーブルによるバックボーンに支えられています。この展示では、その通信量の増大に対応するための超多心・細径高密度光ファイバケーブル、およびデータセンタ用の配線ソリューションを展示します。また1本の光ファイバの中に複数のコアを配置したマルチコアファイバの研究内容についてもご紹介します。



高速大容量通信を実現する5G対応無線モジュール

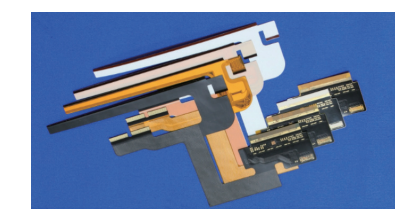
当社は、これまでの研究開発の成果を活かし、5G向け新周波数帯 (66-71GHz) にも対応した60GHz帯無線通信モジュールを開発し、サンプル提供を開始しました。さらに新たな市場を目指し、世界的に利用が拡大されている5Gミリ波周波数帯 (28GHz帯など) のRFモジュール開発にも取り組んでいます。

● ミリ波 URL : <https://mmwavetech.fujikura.jp/ja/>



IT製品に欠かせないFPC・電子部品

当社はフレキシブルプリント基板 (FPC) をはじめ、メンブレン製品、電子ワイヤ、コネクタ、サーマルソリューション等の電子部品を供給しており、スマートフォンからデータセンタやスーパーコンピュータ用途まで、幅広い用途でご使用いただいています。これらの電子部品について、分かりやすく紹介します。



色素増感太陽電池によるエネルギーハーベスト型無線センサシステム

当社は、色素増感太陽電池 (DSSC) の発電電力で駆動可能な、920MHz帯無線を搭載したエネルギーハーベスト型センサシステムや、独自のIoTクラウドによるアプリケーションサービスを提供しています。今回は、熱中症/季節性インフルエンザ予防をはじめとしたソリューション展示を行います。熱中症予防ソリューションでは、新たに開発した「暑さ指数」特化型のセンサシステムにより、熱中症の予防に貢献します。IoTクラウド上で各地点の暑さ指数を監視し、異常時はクラウド上の表示色の变化やメール通知などで、関係者へタイムリーに周知します。



- DSSC URL: <https://dsc.fujikura.jp/>
- 熱中症予防IoTソリューション URL: <https://eh-iot.fujikura.jp/>

AIを活用したモノづくりと予防安全

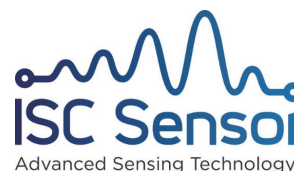
ディープラーニング適用方針と実施例

AI技術の製造業への適用が待たれる中、当社では、AI、特にディープラーニングをモノづくりへ適用するための取組みを2017年度に開始しました。CEATEC2020では、ディープラーニングの適用を進めるうえでの方針(①持続可能性拡大、②透明性確保、③安心安全の確保、④価値創造)に基づき、具体的な取組み内容を紹介します。



インテリジェント・サウンド・クラシフィケーション

当社では音響情報をもとに、AIが生産ラインなどの検知対象物の正常/異常を判別するインテリジェント・サウンド・クラシフィケーション (ISC) 技術を開発しています。マイクで拾う音響情報はいわゆる周波数、音圧、周期、パターンなどがあり、AIがこれらを分析し異常音を判別します。このISCは、工場の生産ラインにおいて、機械が故障に至る前に修繕を施すといった予知保全の面で応用が期待されます。また、その他の応用例としてバイクのチェーンの緩みを判別し、調整を促すような安全面での用途も広がります。CEATEC2020では、これらISCの応用例をご紹介します。



✉ 研究開発管理部

wwwadmin@jp.fujikura.com

Fujikura 株式会社フジクラ Fujikura Ltd.

“つなぐ”テクノロジー 製品ニュース No.470
 発行:2020年10月 編集兼発行責任者:森本 朋治
 〒135-8512 東京都江東区木場1-5-1
<https://www.fujikura.co.jp>

営業企画部 TEL:03-5606-1092
 関西支店 TEL:06-6364-0373
 中部支店 TEL:052-212-1880
 東北ブロック TEL:022-266-3344
 九州ブロック TEL:092-291-6126

